

9. 四国（地域別調査機関：四国経済連合会）

（ - : 回答が存在しない、 : 主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連	良く なっている やや良く なっている	-	-	-
		百貨店（営業担当）	販売量の動き	・個人消費はまだ回復しているとは言えないが、ここ2か月ぐらい、大きな絵画等が売れ始めている。
		スーパー（財務担当）	来客数の動き	・12月後半、冷え込みが厳しくなるとともに客足が良くなり、年末年始も好調に推移した。前年比を3か月前と比べると、1.6ポイント上昇している。
		衣料品専門店（経営者）	単価の動き	・約4年前から初売りの売行きは非常に良くなっているが、今年も同様の結果であった。また中旬からバーゲンに入ったが、単価、数量ともに大きく伸びている。
		家電量販店（店長）	販売量の動き	・液晶・プラズマの大型テレビやDVDレコーダー等の高額商品の販売量が増加している。
		乗用車販売店（営業担当）	来客数の動き	・今月の販売台数は目標を達成し、前年を上回った。
		スナック（経営者）	単価の動き	・従業員を増やし、客へのサービスを充実させたことにより、単価が多少増加した。
	観光名所（経営者）	来客数の動き	・ここ半年は、各月の観光客数、売上とも、前年比で5～10%増加している。	
	ゴルフ場（従業員）	来客数の動き	・1月は閑散期であるが、3か月前に比べ、来客数は多い。	
	変わらない	百貨店（売場主任）	販売量の動き	・冬物のマークダウン、クリアランスセールに入っているが、盛り上がり欠けている。昨年買った服で今年は我慢しようという傾向が見受けられ、販売量の動きに今一つ伸びがない。
		百貨店（総務担当）	販売量の動き	・1月2日の初売りは、福袋目当ての客で過去最高の人出であったが、2、3、4日の3日間では、前年比104%と大きくは伸びなかった。 ・福袋の売上動向が他の商品販売に結び付かず、売上トータルでは前年とあまり変わらない。 ・同様にバーゲンも、初日は来客数が多いが、目玉商品が売れると、次の日からは急速に売上が落ち、トータルでは前年並みにとどまってしまう。
		百貨店（営業担当）	それ以外	・前年同月比で来客数は減少したが、売上は若干の増加となった。初売り、クリアランスセールは比較的好調に推移し、紳士衣料は善戦したが、前月同様、食品関係が苦戦し、その他の商品は前年並みにとどまった。
		スーパー（企画担当）	単価の動き	・来客数はほぼ前年並み、客単価は3%弱のマイナスであった。特に、生鮮食品は5%前後のマイナスとなっており、中でも精肉はBSE、鳥インフルエンザ等の影響で、8%のマイナスとなっている。
		コンビニ（店長）	販売量の動き	・食品、菓子、雑誌の売上が前年比で10%～15%下落し、1月としては出足が悪い。
衣料品専門店（経営者）		お客様の様子	・初売りは瞬間的に活況を呈したものの、客の慎重な購入態度に変化がみられず、バーゲンセールでは30%オフには見向きもせず、50%オフになるまで待っている状況である。	
家電量販店（営業担当）		単価の動き	・今月は前年同月比で、来客数が2%ほど上昇しているものの、客単価が5%ほど下落し、結果として売上は前年を下回っている。3か月前と比べても、映像関係以外は依然厳しい状況が続いている。	
乗用車販売店（従業員）	お客様の様子	・中古車購入の客は、高額商品と低価格商品に分かれて、中間価格帯の商品が売れていない。		
旅行代理店（従業員）	販売量の動き	・今の季節は、団体客がなく、個人・グループ旅行もスキー以外はない時期であることに加え、1月中旬からの寒波襲来等、天候不順であったことから、来客数、売上とも思ったほど伸びず、比較的低調であった。		
設計事務所（職員）	販売量の動き	・販売量の動き、工事の発注量等はやや持ち直しているが、前年に比べるとまだ低い水準にある。		
その他住宅〔不動産〕（経営者）	お客様の様子	・住宅用地の一段の値下がりから、年末には売れ残っていた中古住宅や住宅用地が売れた。		

		住宅販売会社 (従業員)	お客様の様子	・住宅ローン減税の期間延長で、展示場への来場者数がやや多かった。また契約後に、追加の注文もあった。
	やや悪くなっている	商店街(代表者)	その他	・中心市街地に3館あった映画館のうち、昨年3月に1館、さらに今年3月までに1館が閉館予定である。郊外にできたシネコンの影響が大きく、地域の核である映画館閉館後の対応を検討している。
		商店街(代表者)	来客数の動き	・来客数が、正月休み明けから急激に落ちている。
		一般小売店[書籍](営業担当)	販売量の動き	・12月下旬に大型競合店がオープンし、当初予想よりは落ち込みが少なかったものの、売上は約5%減少した。
		スーパー(店長)	お客様の様子	・例年1月20日を過ぎると、節分やバレンタインデー関連商品に動きが出てくるが、今年は全くといっていいほど動いていない。
		コンビニ(店長)	販売量の動き	・昨年末には一時良くなる気配を感じたが、年明けからは一転して厳しい状況となり、他地区の店舗も同様である。
		都市型ホテル(経営者)	単価の動き	・客単価の下落が続いており、加えて、来客数も少なくなっている。
		タクシー運転手	お客様の様子	・例年1月は全体的に悪いが、今年は新年会での2次会への移動がほとんどなく、売上高は前年比で15%~20%低下している。
	悪くなっている	タクシー運転手	来客数の動き	・正月明け以降、極端に客が減少している。特に昼は極端で、それまでは2万円あった昼間の売上が、今は約1万円に半減している。夜も、週末以外は客がなく、待機所で1時間半~2時間待ちの状況である。
企業 動向 関連	良くなっている	-	-	-
	やや良くなっている	化学工業(販売担当)	受注量や販売量の動き	・例年1月の受注は下落するが、今年は年末から引き続き好調に推移している。
		電気機械器具製造業(経営者)	受注量や販売量の動き	・例年、年度末の3月に向け受注量は多くなるが、今年は海外向け電子機械に約1年間分の受注があった。
		建設業(総務担当)	受注量や販売量の動き	・民間工事契約が増加し、受注は前年同期並みに回復してきた。
		広告代理店(経営者)	取引先の様子	・広告出稿の下げ止まりが、ここ2、3か月で顕著になってきた。一部流通業界にも広告費拡大の気配が感じられる。
	変わらない	建設業(経営者)	受注量や販売量の動き	・相変わらず競争が激しく、受注難が続いている。
		輸送業(総務担当)	取引先の様子	・現在もトラックへのスピードリミッター取付けを継続しており、コスト上昇を強いられている。また世間では景気は上向きとの報道もあるが、良い業種はわずかで大半は厳しい状況にあり、荷動きも決して良くない。
		公認会計士	取引先の様子	・ほとんどの業種で、前年比マイナスの状況が続いている。ただマイナス幅は縮小してきた。
	やや悪くなっている	食料品製造業(従業員)	受注量や販売量の動き	・BSE、鳥インフルエンザの影響で、肉が輸入停止となり、在庫が非常に少なくなったため、生産に支障をきたしている。
		一般機械器具製造業(経理担当)	受注量や販売量の動き	・3か月前の排ガス規制対応時期と比較し、受注量、販売量がやや減少気味である。
	悪くなっている	木材木製品製造業(経営者)	受注量や販売量の動き	・住宅ローン優遇税の駆け込み需要の一服感がみられる。
雇用 関連	良くなっている	-	-	-
	やや良くなっている	民間職業紹介機関(所長)	周辺企業の様子	・中堅企業の採用活動、求人数の増加がみられる。
	変わらない	職業安定所(職員)	求人数の動き	・小売業からの新規開店に伴うパート求人の増加などから、新規求人数は4か月連続して前年を上回っている。
		職業安定所(職員)	雇用形態の様子	・求人数は増加しているが、派遣、請負等アウトソーシング的な求人のみであり、正社員の求人は、依然として厳しい状況にある。
	職業安定所(職員)	求人数の動き	・パートを含む新規求人は4か月連続で前年比増となった。パート求人が2か月連続で前年比2割増となっているが、一般求人は微増にとどまっている。	

やや悪くなっている	求人情報誌製作会社（従業員）	求人数の動き	・1月は求人数が多少増加し、それに伴い採用者数も増加したため、求人広告自体は減少している。
悪くなっている	新聞社〔求人広告〕（担当者）	周辺企業の様子	・新聞での求人広告は、病院関係の募集以外はほとんどなく、各企業ともまだ弱気である。